



おひさま通信

VOL. 19

2018年9月15日発行

特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま（以下「おひさま」）は、1986年以来活動をすすめてきた「すぎの子共同保育所」の保育実践をベースに新しく地域の子育て支援センターとしての役割を担いたいと2005年6月24日に設立・認証されたNPO法人です。2016年4月からは徳島市の認可を受けた「木のいえ共同保育園」の運営主体として様々な活動をしています。

おひさま通信は、会員や地域の方々を結ぶ機関誌として、おひさまの諸行事の案内や報告、木のいえ共同保育園の子どもたちの様子などを掲載しています。

〒779-3125
徳島市国府町早淵字雀ヶ原218番6
Tel/Fax 088-642-5933
NPO HP <http://npo-ohisama.org/>

地域との交流①

「デイサービスゆめ」・老人ホーム「みんなのおうち」との交流

2017年度には、地域の老人ホームとの交流を行いました。理事の鎌田さんや佃さんが代表を務める名東町の「デイサービスゆめ」「みんなのおうち」では、水仙の球根を植えさせてもらったこともあり、その球根は3月にきれいな黄色い針水仙を咲かせ、卒園式を彩ってくれました。また、卒園児へのプレゼントもいただいたりと度々交流を重ねています。

今年度初めて訪問させていただいたときには、「かわいらしいなあ」とあたたかく出迎えてくださった施設の方々に少し緊張気味の子どもたちでしたが、手あそびをしたり、歌を歌ったりしているうちに緊張もほぐれ、ふれあいあそびでは一本橋こちょこちょや肩たたきをさせてもらい、触れ合うからこそ感じられる優しさやぬくもりを感じることができました。「ありがとう」の言葉に少し照れくさそうにしながらも、にっこりと嬉しそうな子どもたちでした。そのあとはじゃがいも掘りをさせていただくことに。うんとこしょっと力いっぱい引き抜くと、じゃがいもがごろごろと土の

中から顔を出します。大きく立派に育ったじゃがいもに、「重たいなあ」「抜けん！」と苦戦する姿も見られましたが、抜けた時には「みて！こんなに大きい！」「赤ちゃんのじゃがいももついてきたよ！」と達成感と喜びに満ち溢れていました。

楽しい時間は過ぎてしまうのが早く感じます。お土産にとじゃがいもをいただき、子どもたちから「たくさんじゃがいもを掘らせてくれて、ありがとうございました。大切に食べます」とお礼を言うと、「またおいでよ」とあたたかい言葉もいただきました。帰りの道で、子どもたちは口々に「カレーにいれる！」「ポテトサラダにする！」など、じゃがいもをどう料理するかを考えていました。子どもたちがお土産にももらったじゃがいもとは別に、たくさんじゃがいもを保育園に届けてくださいました。いただいたじゃがいもは給食やお泊り保育のクッキングに使い、保育園全体でおいしくいただきました。

OBの方、地域の方とのつながりや交流はとてもあたたかく、そのあたたかい思いを子どもたちや職員も感じています。人と人とのつながりをこれからも大切にしていきたいと思ひます。



園開放事業報告

自然の色・自然と共に生きることを楽しもう！

7月21日に、親子で楽しむ草木染めワークショップ第5弾「藍でたたき染をしよう」を開催しました。今回も共保のOB保護者で染色家の123〔HiFuMi〕尾形 誠さんが講師として岡山県から来てくださいました。

尾形さんは生まれ育った福島県で東日本大震災を経験し、山梨・徳島と引っ越した先でも大雪や洪水を経験し、この度の平成30年7月豪雨では、ご家族・家屋に大きな被害はなかったものの一時避難するなど大変な思いをされました。尾形さんは今回の豪雨で、日本のどこにいても災害は起こるという事を実感したそうです。なんとなく備えるのではなく、どんな物が必要になるか、またどこに避難をするのか、しっかりと家族みんなで話し合い、準備することが大切だと話をしてくださいました。

尾形さん手作りの手ぬぐい看板です！



葉っぱ選びから真剣！一枚一枚じっくりと選びます。



親子で力をあわせて染めていきます

お話を聞いた後は、藍のたたき染めに挑戦です。徳島県では藍を発酵させた“すくも”を使う藍染めが名産品となっていますが、今回は藍の生葉を使います。染める布の上に藍の生葉を置いて木づちで叩くと、葉の色が布に写し取られます。様々な形に切った型紙を使った型抜きや、藍の葉を布に刷り込む技法も教えてもらい、参加者は、他の参加者の作品やアイデアに感心したり、自分の作品に取り入れたり、思い思いに作品を作り上げていきました。「徳島に住んでいても、藍を見たり触ったりしたのは初めてで、こんなに簡単に染められるなんて！」と驚く参加者も。

染まった色は最初は鮮やかな緑色、空気に触れると段々と深い青緑に変わっていきます。持ち帰って洗濯をするたびに少しずつ変わっていく色を子どもたちは楽しんでいるそうです。

自然は私たちの命を脅かす事もありますが、同時に感動や楽しみを与えてくれる存在でもあります。私たちの生活と自然は、切り離すことが出来ません。今回のワークショップは、自然の恐ろしさと面白さの両方を知る機会になりました。

素敵な一枚が出来上がりました！



共保まつりのお知らせ

今年も共保まつりを開催します！人とつながる心地良さを感じられるおまつりを目指して企画を進めています。

開催日：11月10日（土）10:00～14:00

場所：木のいえ共同保育園

徳島市国府町早淵字雀ヶ原218-6

10:00～オープニング

10:15～食べ物飲み物販売・バザー

あそびのコーナー 手作り雑貨販売 等

13:30～エンディング（保護者有志の影絵劇）

詳しい内容はHP等でお知らせしていきます。ぜひあそびに来て下さい！

会員募集

共同子育て広場おひさまは、子育てが楽しくなる、子どもの目がいきいきと輝く活動に取り組みます。

行事に参加できないに関わらず、おひさまを応援したいという方など、入会をお待ちしております。（入会金なし）

【年会費】

★正会員：5,000円 ★賛助会員：一口1,000円

【会員特典】

☆総会決議権（正会員のみ） ☆おひさま通信配布

☆イベント割引

（例：園開放通常参加費大人300円⇒100円）

寄付のお願い

随時寄付をお受けしております。

【会費、寄付振込口座および振込名義】

※平成28年4月より振替口座の番号が変わりました。

郵便振替口座 01620-0-101329

口座名称 特定非営利活動法人共同子育て広場おひさま

地域の方々に見守られて育つ



木のいえ共同保育園には、保護者やOBの方以外にもたくさんの方々が訪れます。毎年冬に来てくださる三番叟のみなさん、コマ回しや太鼓の達人かつばのゲンさんとの交流は昔のあそびや伝統文化を知る貴重な機会になっています。また、徳島市国府中学校や徳島県立城北高等学校のインターンシップ、各大学からの実習生など、たくさんの方との出会いがあり、お互いに学びあう場にもなっています。

こういった交流を通して、子どもも大人も育ちあっています。お互いに見つめながら話したり、温かな触れ合いの中で互いの表情もより豊かになっていくのがわかります。おひさまはこれからもたくさんの方との出会いや交流を大切に、地域にも子育ての輪が広がっていくよう活動をすすめていきたいと考えています。

地域との交流②

徳島県立徳島科学技術高校建築コースの学生さんとの交流

例年、徳島県産スギを使った木工作品の寄贈をしてくださっている徳島県立徳島科学技術高等学校のみなさんが、今年は子どもたちに木工の楽しさを伝え楽しんでほしいと出前授業に来てくれました。

当日は、たくさん的高校生と先生が保育園に来て、4・5歳児と一緒にのこぎりやすりを使ってなべしきを作ってくれました。

高校生に手伝ってもらいながら四角い杉の木をのこぎりを使って切っています。

「いいかんじ!」「あともう少しで切れるわ!」お兄さんお姉さんの励ましに、一生懸命のこぎりを挽く子どもたち。

木をまっすぐに切るための台は、高校生の手作りです。



切り終わった木は、一本一本やすりをかけて磨いていきます。

過去に寄贈していただいたもの
机・いす・絵本立て
木馬他、木のおもちゃ



事前に空けていた穴にゴムを通します。
6つの木を繋ぎ合わせるとなべしきの完成です!



出来上がったなべしきを手に持ってお礼を言います。「つくるんが、たのしかったです。ありがとうございました」
子どもたちが作ったなべしきはお家に持って帰りました。
子どもたちと一緒に何名かの保育士もなべしき作りを体験しました。出来たなべしきは各クラスで給食のときに使っています。



地域との交流③

子どもたちのアイドル! はたけのおっちゃん

保育園の斜め前にある畑の“はたけのおっちゃん”こと八木さん。季節の野菜が実ると「トマト取りにおいでー」などと保育園に声をかけに来てくださいます。

今年の夏には、2歳児空組は2回もトマトを採らせてもらいました。収穫した野菜はカゴいっぱいになるほどです。保育園の近くに畑があるので、小さい子どもたちでも、夕方の短い時間の中でも気軽に行くことができます。いただいた野菜は、保育園の給食でいただきます。「今日のトマトは八木さんからもらったトマトよー」と伝えると、子どもたちは「おっちゃんのトマトおいしいなー」と嬉しそうに食べています。

また、散歩に出かけた時は、八木さんの畑の前を通ると「あ、とらくたー」「あ、トマトあかくなってきょうなー」などと畑を見て野菜の変化にも気づくほど、八木さんの畑が大好きな子どもたちです。

毎年植え替えの時期には、保育園に八木さんが来てくださって八木さんとOBの春田さんのご協力で、田んぼや野菜作りの環境が整います。子どもたちは、トラクターの音が聞こえてくるとテラスから身を乗り出してその姿をじっと見つめます。

子どもたちは八木さんを見つけると「おーい、やぎさーん」と手を振り、八木さんも笑顔で手を振り返してくれます。子どもたちにとってアイドル的な存在であり、保育園の畑をトラクターで耕してくれる姿は、子どもたちの憧れでもあります。



交流した高校生の感想

○木のいえ共同保育園に行かせていただき、ありがとうございました。私たちは普段教わる側ですが、初めて教える側で難しい事ばかりでしたが、園児たちが楽しそうに作ってくれたことが嬉しかったです。

今回の体験を機に将来、科技高の建築コースに行きたいと思ってもらえれば嬉しいです。

3年：七條 兼心

○私達が教えた事を素直に聞いてくれました。子ども達が、必死に木を切ろうと頑張っている姿を見ることができました。これをきっかけに、子ども達が少しでも、ものづくりへの興味を持ってくれたら嬉しいです。

3年：由岐 佳保

○この度は、木工作品寄贈に行かせてもらいありがとうございました。子ども達と触れ合うことで、自分も学べる事がたくさんありました。これを機に、木工に興味もってもらえたら嬉しいです。

3年：藤原 順也